

てんかんと就労について  
講演する藤川助教



## てんかんと就労 事例を基に学ぶ

東区でフォーラム

市民フォーラム「てんか  
んを考える」(中国新聞社  
主催)が27日、広島市東区  
の県医師会館であり、東北  
大病院(仙台市)てんかん  
科の藤川真由助教(39)が就  
労をテーマに講演した。

てんかんは脳神経細胞の  
過剰な興奮で、けいれんな  
どを起こす疾患。藤川助教  
は、病名を理由に解雇され  
た事例を挙げ、主治医と職  
場の連携が重要と指摘。「症  
状や必要な配慮を職場に伝  
えることで、多様な働き方  
ができる」と話した。

オンラインを含めて患者  
や家族たち約200人が参  
加した。広島大病院てんか  
んセンター(南区)の飯田  
幸治センター長(57)は、ロ  
ボットを使った最新の治  
療を紹介。てんかんの持病  
がある元関脇豊ノ島の井筒  
親方との対談映像も流し  
た。

中国新聞の許諾を得ています

掲載日付 2022年11月28日